

豊漁と海上安全を願い唄い込み

1月15日(土)、寄木地区の伝統行事で町の無形民俗文化財に指定されている「ささよ」が行われ、地区の小中学生6人が大漁旗を先頭に各家々を回り、豊漁などを願って唄い込みを行いました。

ささよは、地区に住む小中学生の男子が行うことになっており、昭和30年代の頃は20人以上で行っていたものが今年は6人。来年はさらに1人減ることから、「今後のやりかたを検討しなければならない。」と保存会の畠山会長は話します。最年長で参加した西拔竣さん(◎皿貝)は、「人数は少ないが、それに負けずに大きな声を出したいです。」と話してくれました。



唄い込みの間、家の方は温かく励ましてくれました

農家の皆さんの仕事始め「農はだて」

1月11日(火)、ひころの里で「農はだて」が行われ、入谷小学校1年生の皆さんが生活科の授業で見学に来れました。

農はだては、農家の皆さんのお正月休みが明けた1月11日に、農作業が始まる仕事始めの儀式として、昔から行われてきた年中行事です。

始めに、今年作付けする稲の品種を占う「白伏せ」が行われ、その後、農作業の準備となる「わらすぐり」「わら打ち」「縄ない」などを、子どもたちが代わる代わる体験しました。慣れない手つきながらも、昔からの風習を楽しみながら手を動かしていました。



白伏せの結果を見る子どもたち。今年は、出穂時期が中生(なかで)の品種が豊作になると出ました

おもちをペタン！楽しいな！

1月12日(水)、あさひ幼稚園で毎年恒例のもちつきが行われました。

この日は、朝から雪が降り積もっていましたが、園長先生の気合いの決断で園の中庭での開催を決定！すると、おもちをつくころには青空も見え始め、絶好のもちつき日和となりました。年少の子どもたちは2人1組で重い杵を持ってペタンコ！一生懸命におもちつきを楽しみました。

佐藤千風くん(◎松井田)は、「杵はぜんぜん重くなかったからひとりでもできたよ！おもちをつくの楽しかった！」と力強く話してくれました。



出来上がったおもちは、あんこもちや海苔もちにしてみんなで食べました

今年1年の健康と大会での活躍を祈願

1月9日(日)、南三陸町空手道連盟志津川本部の空手寒稽古が行われ、凍えるような寒さのなか、ランニングや基本練習などの稽古に汗を流しました。

「足の裏を鍛えるため、なるべく素足で稽古に臨んでください。気合いを入れて頑張りましょう。」という柳春夫会長のあいさつ後、道着に素足という姿で、志津川公民館から志津川駅前までランニングをし、蹴りや突きなどの練習に励みました。

素足で参加した佐々木政軌さん(◎上の山)は、「とても寒かったけど、足腰が鍛えられました。今年は、東北大会で優勝できるよう頑張りたいです。」と身も心も引き締まったようでした。



この日の最低気温はマイナス2.7度で、まさに寒稽古！

J A南三陸とのコラボが実現

南三陸町飲食店組合が企画・販売している、キラキラ井シリーズの春バージョン「キラキラ春つげ井」がこのたび完成し、1月13日(木)、町や旅行会社などの関係者を招いての試食発表会が南三陸ホテル観洋で行われました。

春つげ井は、J A南三陸の商標登録となっている「春つげやさい」を使用するということから、南三陸町飲食店組合とJ A南三陸の強力なコラボレーションが実現。きれいに盛り付けされた新鮮な魚介類と春つげやさいは、まるでお花畑のようでした。

この春つげ井の販売期間は、2月から4月末までだそうです。



春つげやさいを紹介するJ A南三陸の三浦農産園芸課長

新しい芝生でグラウンド・ゴルフ大会

1月17日(月)、平成の森の多目的広場を会場に「第1回平成の森グラウンド・ゴルフ大会」が開催され、町内のグラウンド・ゴルフ愛好者42名が16ホールの個人戦で競い合いました。

この大会は、平成の森の旧テニスコートが全面芝の多目的広場として完成したことを記念して開催したもので、参加した皆さんは、きれいに整備された芝生の上ではつらつとしたプレーを見せていました。

平成の森の皆川所長は、「寒い中、こんなにも大勢の方に参加いただき大変うれしい。ぜひ継続して開催したいと思います。」と話してくれました。



この日の優勝者は、32打でホールアウトした首藤洋子さん(◎新井田)です

フットサルでさわやかな汗

1月16日(日)、南三陸町サッカー協会が主催する「第6回南三陸町フットサル大会」が、志津川公民館で開催されました。

フットサルは、主に室内で行われるサッカーに似た競技で、サッカーの4分の1ぐらいの大きさのコートを使用し、5対5でプレーする人気のスポーツです。

この日の大会には、中学生から50歳代までの幅広い年齢層の選手で編成された8チーム約80人が参加し、スピード感あふれる好プレーを披露しながら、さわやかな汗を流しました。なお、栄えある優勝はB・P・F(代表:熊谷広平さん(◎松井田))が勝ち取りました。



巧みなパスワークで、相手のゴールを目指します

お肌の手入れと基礎メイクを勉強

日ごろ、子育てや家事で忙しいお母さんたちに勉強の機会を与えようと生涯学習課が主催する「お母さんたちの勉強会」が、12月22日(水)、志津川保健センターで行われ、約15名のお母さんたちが「正しいお肌の手入れと基礎メイク」を学びました。

講師を務めた資生堂東北支社の上野香代子さんは、「お肌の老化に気づいたときから、手入れを始めることが大事。」と話し、化粧水やファンデーションの使い方を実践で指導しました。参加した阿部貴世江さん(◎廻館)は、「普段は、手抜き化粧しかしていないので、これからは化粧の時間を作って自分を磨いていきたいです。」と話してくれました。



納得のいく仕上がり、笑顔を見せる皆さん